ル ー ル 変 更 比 較 表

2019	2021	備考
フラッグフットボールコードの導入		
	概論、コーチング倫理、スポーツマンシップ 原則、装備、優先進路、薬物	(4頁)原則 原則として、優先権はボールがパスまたはハンドオフされる前の時点まではオフェンス側にあり、それ以降はディフェンス側に与えられる。しかしながら、これらの権利がコンタクトを誘発するために悪用されてはならない。 意図的に相手にコンタクトを図った場合、たとえ優先進路を有していても、罰則が科せられる。
名　称　変　更		
ブロック	シールディング	(16頁)ルール2定義、セクション11、ARTICLE 2. シールディングとは、対戦相手の進路を、コンタクトすることなく妨害すること。等
ターゲッティング	エイミング	(16頁)ルール2定義、セクション11、ARTICLE 4. 標的を定めて相手選手とのコンタクトを開始すること。等
ラインズマン	ダウンジャッジ	(31頁)ルール11審判団の責務、セクション3、 IFAF のジェンダーニュートラル方針によるもの
影響の大きな変更		
	マーシールール（通称）の導入	(19頁)ルール3ピリオドと計時、セクション2、ARTICLE 6. スコアの差が30点以上の場合、残りの2分間で通常計時が停止する状況であっても、計時は停止しない。
	チャレンジの導入	(32頁)ルール12チャレンジ ルールの誤用や不正確な罰則の施行に対してのみ
反則施行の変更		
イリーガルハンドオフ BSからの5ヤード罰退	不正なハンドオフ SFからの5ヤード罰退（LOD）	(BS）ベーシックスポット、(SL）スクリメージライン (DB）ボールデッド地点、(SF）反則地点スポットオブファウル (LOD）ロスオブダウン
不正な選手交代 DBからの10ヤード罰退	不正な選手交代 SLからの5ヤード罰退	
イリーガルコンタクト(OF) BSからの10ヤード罰退	オフェンスによる不正なコンタクト BSからの10ヤード罰退（LOD）	
試合妨害(OF) BSからの10ヤード罰退	オフェンスによる試合妨害 BSからの10ヤード罰退（LOD）	